

必ず迎えに行きます

伊藤正人

秋田県・一六・高校生

遠く離れてから少しの時間しか経っていないのに、もう何年も逢っていないような気がします。元気に頑張っていますか。

毎日あなたがそばにいた頃は、二人の道がどこまでも続いているように思えました。いつも一緒にいた時間、二人で描いた夢、まだ忘れもせず、鮮明に思い出されます。いまでもあなたへの気持ちは、あの日のままです。

「遠くに遊びにいこう」

と、あなたは言ったね。どこに行こうか二人で考えているうちに、あなたの転校が決まってしまうました。あの時の悲しさ、あなたがこぼした大きな涙、つらかったね。だけど、いつまでも悲しさだけを抱いて、夢を失くした子供のように生きて、大切な一日が無駄に過ぎていくだけだよ。あなたはあなたらしく、明るさを忘れないで生きてほしい。うーん、時々みせてくれた言葉にできないような笑顔、みんなを幸せ

にするんじゃないかな。何よりも、あなたらしく生きてほしいです。夢を失わずに。

「いつか迎えに来て。私待ってるから」

バスに乗る前に、あなたが言った言葉です。その時返事できなかったけど、今ここで返事します。

「必ず迎えに行きます。今はまだ、あなたのこと守れる力がないかもしれないけど、今度逢う時は、今までと違った僕をあなたに見せます。二人で描いた夢、まだ全部できてなかったから、続きを二人で完成させよう。そして、今一人ぼっちで過ごしている時間も、取り戻そうな。この広い世界のたくさんの人の中で、たった一人のあなたを愛しています。僕のこと信じて待っていてください」

今の僕にできること、あなたを心から応援します。僕のいちばん大好きな歌を、いちばん大切なあなたへ、山根康弘さんのYee-eeを君に。

「悲しい時も、笑える時も、僕がついているから、たとえどんなに遠くにいても、いつも君をみている。いつもYee-eeを君に」